



平成28年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社 T Y K
 (登記上社名 東京窯業株式会社)
 代表者名 代表取締役社長 牛込 伸隆
 (コード番号 5363 東証第一部)
 問合せ先 取締役管理本部長 北原 謙
 TEL (0572) 22 - 8151

平成29年3月期第2四半期 投資有価証券評価損の戻入れ、業績予想と実績との差異及び
 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成29年3月期第2四半期において、下記の通り投資有価証券評価損の戻入れが発生することとなりましたので、お知らせいたします。

また、平成28年5月20日の決算発表時に公表いたしました平成29年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と本日公表の実績値との差異、ならびに最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月20日に公表いたしました平成29年3月期通期連結累計期間業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 投資有価証券評価損の戻入

当社が保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成29年3月期第1四半期において減損処理による投資有価証券評価損を特別損失に計上しておりましたが、当該株式の株価の回復により、平成29年3月期第2四半期において投資有価証券評価損の戻入れが発生することとなりました。

平成29年3月期第2四半期における投資有価証券評価損

平成29年3月期第2四半期会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）の投資有価証券評価損の総額（= A - B）	△437百万円 （△：戻入益）
(A) 平成29年3月期第2四半期累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の投資有価証券評価損の総額	—
(B) 直前四半期（平成29年3月期第1四半期）累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）の投資有価証券評価損の総額	437百万円

※ 四半期における投資有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※ 当社の決算期末は、3月31日です。

2. 平成29年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	9,040	470	590	300	円 銭 6.72
今回発表実績(B)	9,818	778	533	335	7.52
増減額(B - A)	778	308	△ 56	35	—
増減率	8.6	65.6	△ 9.6	11.8	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	10,102	540	719	280	6.29

3. 平成29年3月期通期連結業績予想の修正（平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	19,450	1,010	1,250	640	円 銭 14.34
今回修正予想(B)	19,450	1,300	1,250	640	14.34
増減額(B－A)	—	290	—	—	—
増減率	—	28.7	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	20,111	1,272	1,352	648	14.54

4. 差異及び修正の理由

売上高につきましては、主要取引先における需要が想定を上回ったことから、予想を上回ることとなりました。また、利益面につきましては、売上高の増加により営業利益が予想を上回ったものの、円高による為替差損の発生により、経常利益が予想を下回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記の投資有価証券評価損の戻入れにより予想を上回りました。

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、前回予想を上記の通り修正いたします。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上